

くさか景子の **ちよっ** よろしいですか！

と

毎月発行 県政情報紙 2009年9月 Vol 29

What's
New?

話題沸騰！ 最先端医療

ガンを切らずに治す「重粒子線治療ってどんなもの？」

県立がんセンターで平成26年治療開始予定

横浜二俣川自動車教習所の隣にある、県立がんセンターは、県民のがん専門病院として、400人も手術待ちになっているほど頼りにされています。しかし、建物の老朽化が激しく、また、患者サービスを充実させるため、手術室、ICUなどの拡大を視野に平成25年の新がんセンターオープンに向けて建設が始まります。

県民の死亡原因第1位は、がんです。県では、がんへの挑戦10ヵ年戦略や、がん克服条例などががん予防や治療の充実に力を入れています。がん治療としては、手術、放射線治療、化学療法などがありますが、最先端治療、重粒子線治療法をご紹介します。

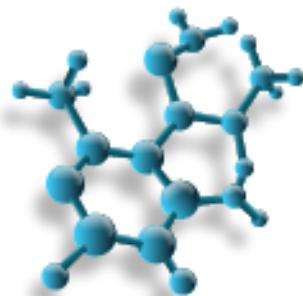
私は、9月、群馬大学医学部を訪れ、来年3月治療開始の重粒子線治療施設を見学しました。日本では、陽子線治療はありますが、さらに高度な炭素線(重粒子線)は、千葉についで2箇所目です。



重粒子線医学センター訪問

重粒子線がん治療は、炭素イオンを身体の外から当て、がんの病巣だけを集中して、狙い打ちします。照射時間も1~2分ぐらいで、痛みや傷もなく、副作用も少なく、入院の必要もありません。肺・肝臓がんでは放射線は30回のところ重粒子線は1回ですみます。

しかし、重粒子線治療は全てのがんに適応できるわけではありません。特に、胃や腸のように不規則に動く臓器、白血病のような全身に広がっているがん、広く転移したがんおよび既に良好な治療法が確立しているがんには適応できません。対象となるのは、局所に留まっているがん、悪性黒色腫のように通常の放射線が効きにくいがん、手術の難しいがんなどです。気になるのは、費用です。今のところ、保険の適用はなく、一症例300万円くらいかかります。



機材も高価で、費用も高額ですが、画期的な新治療法です。5年後には、神奈川県でも導入されます。独立行政法人化になる県立病院ですが、新県立がんセンターの一日も早い質の高い医療提供が期待されます。



政治は身近な存在！

貴重な体験「議員インターンシップ」を終えて



つつじ学園を訪問して(左 杉森さん)

テレビのニュースで国会などの議会の様子を見て、「議員さんは、議会以外にどんな活動をしているのだろうか？」と、前から興味がありました。今夏、日下さんの下で2ヶ月間のインターンシップを行い、さまざまな日々の活動に同行させていただきました。日下さんの一日は、本当に「とっても忙しい！」という言葉に尽きます。一日を通して2～3回、多いと4回くらい場所を移動して、タウンミーティングに出席したり、人に会って話を聞いたり、施設を訪問・視察したり、時には、祝典に出席したり。本当に息をつく暇

もないくらい、毎日さまざまな場所に行き、たくさんの人に会います。例えば、県内の福祉施設を視察した際には、まず、職員の方に、その施設はどんな機能や役割を果たしているのかといった説明を受けます。そして、施設の中を視察し、その中で現在起きている問題や、それに対して必要な改善策、県に対しての要望なども聞きました。日下さんや他の議員の方々も、これらを汲み取り、議会での質問に生かしたり、県の予算を成立させる際に役立てたりするのだと思います。こういった活動は、施設を利用する私たち市民にとって、この施設をより快適で使いやすい場にするためであり、よくよく考えてみると、私たち市民の生活をよりよいものにするための活動ではないだろうか、と思うようになりました。また、議会傍聴をした際には、県内の公立高校の再編や統合といった改革が、県議会によって決められ、推進されていることを知りました。私自身も、卒業した母校が統合・再編の対象になり、ちょうど去年の春に新校として開校されていたので、これを決めた議会や政治というものを、より自分の生活の身近に感じるようになりました。

これまで「県政」なんていうと、大学生の私にとってはとても縁遠いもののように感じていました。でも、このインターンを通して、「政治は私たちの生活と密接に結びついているんだなあ」ということに気付き、とても貴重な経験となりました。

(議員インターンシップ 杉森 紗由美)



くさか景子のほっとコラム

定額給付金のご寄付ありがとうございました！

— 市民団体に 79 万円を寄付 —

自民党のばら撒きと批判された例の定額給付金を有効に使おうと呼びかけていた「定額給付金による生活困窮者支援基金づくり実行委員会」(くさか景子も呼びかけ人)に県内、都内、千葉県から約 100 人が賛同し、79 万 2910 円が寄せられた。9 月 4 日、下記の市民団体に全額寄付した。

- * 外国籍児童の支援に取り組む「信愛塾」に 33 万円
- * 簡易宿泊所街で生活する人たちを支援する「寿地区センター」に 33 万円
- * 派遣切り問題に取り組む「不安定雇用ネット」に 13 万 2910 円

ご寄付、ご賛同いただいた皆さん本当にありがとうございました。

